

# 会 議 録

会 議 名	令和3年度第2回 辰野町図書館協議会
開 催 日 時	令和3年12月16日(木) 午前 9時00分～ 9時45分
場 所	辰野町立辰野図書館2階会議室
出 席 者	委員6名中 6名(事務局:宮澤教育長、西原課長、辰野図書館職員:千田・吉澤)
会 議 次 第	<p>進行 課長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会のことば</li> <li>2. 教育長あいさつ</li> <li>3. 協議事項(進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 令和3年度図書館利用状況</li> <li>2) 令和3年度図書館事業等報告</li> <li>3) 令和4年度予算・事業計画</li> <li>4) その他</li> </ol> </li> <li>4. 閉会のことば</li> </ol>
会 議 結 果	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 協議事項(進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 令和3年度図書館利用状況</li> <li>2) 令和3年度図書館事業等報告</li> <li>3) 令和4年度予算・事業計画 辰野図書館職員から一括説明し、質疑を経てご了承いただく。</li> <li>4) その他 小野図書館の経過と今後について館長から説明し、ご了承いただく。</li> </ol> </li> </ol>
発 言 者	発言の内容
会 長	<p>年末のお忙しいところありがとうございます。今日は第2回の図書館協議会ということで、時間が限られております。いろいろお話し合いをいただきたいことがあるわけですが、効率よく進めていただきますようお願いいたします。協議事項に従って進めてまいります。いつものように事務局から一通り説明いただき、後ほど一括で質疑とします。</p>
図書館職員	( 1)～3) までを資料をもとに説明。)
会 長	ご質問、ご意見をお願いします。
A 委 員	大きな話になってしまうが、正規の職員はどうなるのか。正規職員のことにはここには出てこないと思うが。
図書館職員	この資料には正規職員のこと載っていない。図書館の正規職員の予算は教育委員会の方で予算計上をしている。
A 委 員	正規職員は二人いるということか。
図書館職員	今は二人だが、現在の再任用職員は今年度で終わりとなる。
A 委 員	<p>文化の担い手として、今の辰野図書館は素晴らしいと思っている。それはやはり職員の方たちの力だと思う。少し前にテレビで『人新生の「資本論」』著者の斎藤幸平氏が、豊かさとは何かという話で真っ先に出たのが図書館だった。「今の図書館は非正規の人で支えられていて、専門性も、熱意も、創意工夫も要る仕事であるが、今のままでいいのだろうか」と冒頭で言っていて、ああ、と思った。毎年言ってい</p>

	<p>る気もするが、今の質が保障されるかという不安を感じる。現在の再任用の方が(任期終了)というのもショック。枠で仕方がないのかもしれないが、何らかのかたちで残ってほしい。少し調べてもらえば、ブックスタートも当たり前のように聞いていたが、全国ではそんなことない。予算がついているかという、どこでもそうではない。一例を挙げれば、民間のボランティアがやっていて民間の寄付で賄っている、寄付がなくなればできなくなるかもしれない、というところもある。辰野町はブックスタートと3歳のセカンドブックもあり、当たり前のようにだけ、そうではない。選定図書も、いつも考えているけれどもだいたい購入されている。借りられなくても、歴史的に価値のあると思われる本は揃っている。そういうことが大事で、それが保障されるのはやはり職員の方たちの熱意が保たれる、モチベーションが保たれる状況であるかどうか。それが続いてほしいと思う。この辺のことは行政の話になるので図書館協議会の話としてはどうかと思うが、一人の委員として言い続けなければいけないと思っている。</p>
<p>会 長</p>	<p>非常に大切な、また貴重な意見をいただいたと思う。私もずっと思いの中の一つにあったことである。色々な意味で町の財政も非常に厳しい状況ではあるけれども、職員の体制についてはぜひ町当局、また議員の皆さんにはご理解いただきたい。正規・非正規とも頑張っている。新聞をご覧になってご存じかと思うが、このところ連載で図書館職員がテーマ展示の紹介をしている。イラストもよい。こうした努力をいただいている訳だが、予算面の理由で質やサービスがマイナスにならないようにぜひお願いしたいと思う。</p>
<p>C 委 員</p>	<p>以前から(デジタルアーカイブなど)データで扱えるようになってほしいという話がある。学校でもかなり子どもたちの学習の面でそういったものが求められる場面が多くみられる。中学の体育の授業を見させてもらったことがあるが、例えばバスケットボールなら、どうしたらいいかを個人がタブレットをみて学習して(バスケットを)する。こういう時代になったのかと。情報に惑わされるではないが、使い方というのは小さいうちから、子どもたちが有効に使える方法で、そういうデータの扱いが大事になってくる。図書館は本というイメージだが、他市図書館では「おなか痛くなったら図書館に来る」と館長さんに聞いたことがある。なぜかという、それを調べに来る。図書館は本だけではなく、調べること、図書館へ行けば分かるんだということ、それに応えられるような図書館づくりをという話をされた。そういう意味で「知の財産」は大切なんだと分かった。そこの図書館はすごいと人に話したら、でもその市には美術館はないんだよって。辰野はあるのに。それぞれ行政の進め方は違うと思うが、図書館というのはいろいろなことが自分で調べられるとか、聞いたら応えてくれる司書がいるとか、誰でもが憩えて相談できる場所であればうれしい。そのためには先ほどのような声を、ここだけはなくていろいろなところに広められたらいいと思う。またそういう考えを、皆さんいろいろな関わりもあると思うので、各方面で広げられたらいいと思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>お話にあったように、町民の皆さんはあまり理解されていないかもしれないが、この規模の町に全国に誇れる活動内容をもつ図書館がある、そして美術館がある。これらは本当にまちの宝であり、誇れるところ。なかなかこういうものを維持していくというにはお金もかかるし、厳しい中で大変かと思うが、ぜひこの文化的な宝を町民みんなで支えていく気運が改めて高まればいいと思う。図書館協議会の委員の皆さんお忙しい中で活動していただいている。私ももう少し外に発言できるような会議でなければいけないと思いながら会長をお引き受けしている。反省の意味を込めて申し上げておく。</p>

教 育 長	Wi-Fi の工事のことに触れなかったが。
図書館職員	工事は済んでいるがあと一段階が済んでいない。情報通信係で進めている。既存の Wi-Fi は 1 階で使える。
教 育 長	町民会館も同じで進まないため。
会 長	私の方から 2 点ほど。次年度事業計画について。一つは、来年度図書館開館 100 周年・新築移転 40 周年という、かなり大きな節目の年を迎える。その記念行事を計画中ということで、時期はいつごろか。
図書館職員	5 月中旬以降から 6 月中旬くらいまでのおそらく日曜日がメインになるかと思う。会場の都合による。秋冬が使えないため。
会 長	実行委員形式という話だったが、その構成メンバーは。また、前は佐々木正美先生と俵万智さんをお招きしたが、例えばそうした何らかのかたちでの講演会を企画しているか。皆が知っているとか聴きたいなというような人気のある方というのは、予定が大変込み合っていて 2～3 年予定が埋まっているという場合もある。(5～6 月ならば)あと半年くらいだが、計画があるのか。
図書館職員	今コンタクトをとっているところが 2 か所ある。100 周年にあたっては、図書館としてのコンセプトとして、100 年続いてきたので「100 年先へ…」みたいなコンセプトで考えようと話をしている。100 年先というとやはり子どもたちが育っていくということで、子どもを真ん中に据えたこと、もう一つはやはり平和とか、伝えていくという役割もあるので、その辺りを柱に考えようと(職員で)話をしている。子どもを中心に考えた場合に、講演会というより親子で楽しめるものということで、大阪に劇団「くらるて」というところがあり、ばばのぼるさんの絵本『11 ぴきのねこ』を人形劇にしている。メールを送ってあり返事はまだだが、メインの行事としてはこれが親子向けというか、子どもが「あの時楽しかった」と思えるような人形劇を計画している。もうお一方は友田明美さん。2 年ほど前はかなりマスコミに出られた方で、脳科学の学者で現在福井大学にいらっしゃる。マルトリートメントと言って、子どもに対するいろんな意味での虐待が脳を傷つけるということを発信されている方で、その方の講演をやりたいと 2 年ほど前からコンタクトをとっている。何分にもコロナ禍で本人が直接来られず、オンライン講演会になるという返事だけはいただいている。全国的にも有名でアメリカでも研究をされている方なので、その方の話を聴きたいと思う。実行委員会ではできれば協議会の皆さんにはお入りいただいてお力添えいただければと思う。コロナの状況がどうかという中で、どこで確定していいかが難しく、職員も及び腰になっている部分もあるが、100 年という節目の年をそんな形で進められればと思っている。他に何かあれば皆さんの方からも。
会 長	委員の皆さんにはぜひ実行委員に入っていただくということで、ご意見・要望等お出しただければと思う。いずれにしても半年後ということで、大きな行事なのでご協力を。もう一つ、来年度図書館協議会が 2 回となっているが、これまで年 3 回だったが、減らす意図は。
図書館職員	これまで、毎年 2 回と 3 回と交互にきていたので。3 回の際はおそらく大きな事業があるとき。
会 長	状況に応じてということで。私からは以上ですが他になにかあれば。
C 委 員	先程のイベントの案で、今度木曾に「こどもおもちゃ博物館」というのができる。そのボランティアの講習会があって行ってきた。0～2 歳くらいのお子さんに木のおもちゃをとるので、全国的にあるということを初めて知った。子どもがおもちゃに対して親子でどうやって関わるのかを、懇切丁寧に説明された。その博物館へ

C 委 員	は必ず親子で行かなければいけないという。子どもだけを遊ばせるのではなくて、木のおもちゃを媒体にして子どもがどのように発達するのか、そういうことも考えながらやっているの、深いものがあった。それを夏から始めるという話を聞いて、その「おもちゃ学芸員」というものの講習を受けている。これから 100 年というのを考えていく上で、いろいろなバリエーションがあってもいいし、大きくなくても図書館を媒体として、そういうのもいいかと思った。
会 長	それはいつ開館するのか。
C 委 員	夏の予定で、今はまずボランティア、スタッフの人たちに 2 日間の講習を受けてもらって、それで無料できてもらうような体制。
会 長	以上で協議事項を閉じます。
館 長	小野図書館の関係で、令和 2 年度末をもって休館し蔵書整理をしてきた。ここで蔵書整理が一段落し、昨日議会最終日だったが 12 月議会で、小野図書館に関する条例改正が承認された。今後は、建物については文化係が小野宿一帯を考え地元と相談し利活用を考える。図書館機能についても地元と相談していく。今日は報告まで。

閉 会